

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和2年 7月22日発行 一第 11 号一



～ 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制～ 【実践例紹介】

江部乙中学校 1.2年生 総合の授業

講師 野口ファーム～北海道を楽しむ農家ライフ～ 野口 博隆 さん

滝川産菜種油で、安心・安全をモットーに作られた

菜の花オイルソースへの思い



各学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらも少しずつ教育活動を広げています。今回は、滝川市立江部乙中学校の外部講師による総合の授業を紹介致します。

7月2日(木)、江部乙中学校の1年生と2年生は、野口ファームの野口博隆さんから、菜の花オイルソースに対する生産者としての思いや商品の売り方など、色々なことを教えていただきました。

お話は大きく下記の3つの内容に分かれました。野口さんの熱気に溢れる軽快な語りで授業は進んでいきました。



野口 博隆 さん

- ① 野口さんのプロフィール
- ② 商品についての生産者としての思いなど
- ③ 江部乙中学校の取り組みについて(成果と課題)

まず、野口さんのプロフィールです。野口さんは、会社員から農業をするために千葉の農家で修行され、6年程前に滝川で農家の仕事を始められたそうです。

(現在は、農家と塾の講師をされています。)



江部乙中学校

地域の方のお話を聞いて、子どもたちが地元のよさを知ることができてよかったです。また、色々と大変な時期に地域の方との交流や活動ができたことが本当によかったです。

いつもは、宿泊学習の時に札幌地下の歩行空間で江部乙町の特産を販売していました。今年は、それができませんが、地元の特産や生産者の思いがわかってよかったと思いました。



川原かおる先生



大佐賀祥先生

「地域とともにある学校づくり」の一貫として、江部乙町の特産品野口ファーム「菜の花オイルソース」の生産者であります野口さんにお話を伺いました。この授業は子どもたちにとって地域に対する愛着や誇りをさらに育むことに大変有効であった思っております。今後も、江部乙町で育ったことに誇りを持っていけるような活動を継続して参りたいと考えております。



鳥谷部賢太校長・橋本孝博教頭

次に、菜の花オイルソースについての説明がありました。菜の花オイルソースは、「オニオン」「アンチョビ ガーリック」「バジル」の3種類ですが、これは、イタリアのシェフから美味しいレシピをいただいたため、作ることにしたそうです。



「アンチョビ ガーリックソース」は、材料を準備するのが大変です。アンチョビとは、カタクチイワシの塩漬けをオリーブオイルに浸したもののなのですが、レストラン経由で輸入しています。ガーリックは、収穫して一週間位から10日の一番美味しい時期のものを強火で飴色になるまで炒めて作ります。皮をむくのも大変ですが、目に染みて涙が出たり、熱くて火傷をしたりするなど、このソースづくりが一番大変です。



宣伝ポスター



「オニオンソース」は、9月～10月の水水しくておいしい滝川産の新玉ねぎだけを使用するため、この時期限定で作ります。



「バジルソース」は、1枚約0.5グラムの葉を7～8キログラム使用します。新芽のバジルの葉を3日間取り続けます。その後は、虫が付くので刈り取ります。

作り方を伺うと、旬の野菜を使用したり、虫が付く前に約16,000枚のバジルの葉をひたすら収穫したり(つまり、防虫剤などの薬剤を使用していない)するなど、**素材一つ一つの味だけでなく、安心・安全面にもこだわりながら美味しいソースを作られている**ことがわかりました。

次に売り方です。「**地元のは地元で売っていこう!**」と考え、まず、滝川の市民に知ってもらえるよう努めたそうです。そこから知人に伝わり、他市からの問い合わせがくるようになったそうです。

オイルソース、とっても美味しいですよ。ぜひ一度お試しください。

【美味しさの伝え方】

- ① イメージの伝え方 → 「美味しい」は当たり前なので、画像で使い方等を掲載したり、コクや香り等を多種多様な表現でアピールする。
- ② 商品の価値 → 商品ができた背景等、商品とストーリーを作っていく。
例えば、中学生が一生涯懸命商品の良さを伝えて売ろうとしていることも大きな価値となる。うまく、正しくは考えずに自分の感じたことを伝えたいという素直な思いが大切である。
out put(アウトプット)することで、自分のものになり、力になる。



商品に対する思い、熱意が伝わってききました。情熱を持って仕事をされている方の言葉は、心にグッと入ってきますね。

最後に、野口さんは、「**江部乙町のよさをたくさん知り、ここに生まれ育った自分をもっと好きになってください。**好きになったことが熱となり、自分の思いは相手に伝わりやすくなります。そして、失敗を恐れず、失敗を生かし、次につなげていくことです。**何もしないのが、一番の失敗です。**」という、今後の指針にもなる力強いメッセージを送っていただきました。



お礼の挨拶

代表の生徒から「材料にこだわり、大変なものを作っていることがわかりました。試食するまで江部乙にこんな特産があるとは知らなかったもので、**江部乙のよさをとても感じることができました。**今日はお忙しい中、本当にありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。

この授業を通して、「江部乙町のよさを知ろう、そして、ふるさとに誇りを持ち、江部乙町の魅力を広げていこう」という気持ちがさらに膨らんだように思います。子どもたちの未来に希望が持てる素敵な授業をありがとうございました！

